



セブン-イレブン みどりの基金 活動報告書

2006年度(平成18年度)

2006年3月1日～2007年2月28日

2006年度(平成18年度) 活動のご報告

セブン-イレブンみどりの基金の2006年度(平成18年度)の収入は、おかげさまで店頭募金3億3334万1098円、セブン-イレブン本部からの寄付金 9603万5814円、繰越金その他を合わせ、合計4億8888万6584円となりました。

また、支出は事業費3億0909万2991円、管理費7277万0973円を合わせ、支出合計は3億8186万3964円となり、お客様からの募金とセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、“環境”をテーマに活動している環境市民団体への支援活動や自然環境の保護・保全事業、地域環境の美化事業、広報事業を行いました。今年度の義援金・救援金募金活動では、5月のジャワ島中部地震災害、7月の梅雨前線による大雨被害、9月の台風13号被害(九州)に対して合計7419万2479円をお預かりし、それぞれの被災地にお届けいたしました。

環境NPO事業の公募助成制度では、市民が主体となって活動する団体がより継続的に、より発展的に活動できるよう、支援の目的や内容に合わせた6種類の助成を設けて制度の充実を図り、合計112件に8369万0039円を助成いたしました。地域の環境市民団体の支援を目指す地域活動支援では、助成制度への理解を促す助成金セミナーなどを地域の間支援組織と開催しました。また、12月には中間支援組織「エコネット近畿(通称)」が設立され、一層地域の環境活動を行う団体を支援する体制が整いました。

自然環境の保護・保全活動事業では、自然災害復元・復興活動として、官民一体となって台風被害地域の国有林を再生させる植樹「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」に取り組みました。2002年から継続して認定NPO法人霧多布湿原トラストと行っている北海道霧多布湿原のトラストは、約339haと市民団体のトラストとしては日本最大となりました。また、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」ことを基本理念にした九重ふるさと自然学校を、大分県九重町に2007年春に開校するために、自然環境の保護・保全や環境保全型農業体験などさまざまな準備を進めました。

地域環境美化事業では、グループ全社が参加する「セブン&アイHLDGS.全国一斉清掃活動」、ボーイスカウトによる「カントリー大作戦」、北海道全域で展開する「ラブアース・クリーンアップ in 北海道」、「札幌大通公園花壇出展」などを行い、美しい街並みの実現を目指した活動を続けています。

広報事業では、自然環境への意識を高めていただくために環境作文コンテストと森林マラソンに協賛しました。

新たな募金活動として、セブン&アイHLDGS.のクレジットカード会社(株)アイワイ・カード・サービスが、会員の皆様が「ポイント交換」で当基金へ寄付できる取り組みを開始しました。

身の回りの環境ボランティア活動から、日本の自然遺産を守る活動まで、当基金は、これからもお客様、環境市民団体、セブン-イレブン加盟店・本部と力を合わせ、より一層の活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を展開していきたいと考えております。

皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。